

令和2年度(上半期)  
経営発達支援計画に基づく短期目標に係る総合評価

### **1. 地域経済活動向調査**

#### **評価対象事業**

- ・管内の小規模事業者の景況調査経済動向資料の分析・作成
- ・公的機関が発行する資料の整理・分析 1-①調査事項に対する分析・公表

#### **実施状況**

管内の小規模事業者 80 社を対象に、景気動向調査を 6 月と 9 月に行い公表した。  
併せて公的機関発行の景況に関する資料を収集し、公表資料に盛り込んだ。

#### **評価・コメント**

景気動向調査の回収に時間が掛かるとの反省に、「8割回収でもよいのでは」とのコメントもあった。また、「しっかり調査されている」との評価をいただいた。

#### **対策**

- ・巡回時等の会員事業所からの町内の情報収集を強化し、より具体的な情報を盛り込み内容の充実化を図る。

### **2. 経営状況の分析**

#### **評価対象事業**

- ・『本気』の取り組み小規模事業者の募集
- ・重点支援先を対象とした経営分析キックオフセミナーの開催

#### **実施状況**

重点支援先を公募したところ、37 社の募集があった。この事業者を対象として、2 回(7/28, 8/4)に渡って、発想法を軸とした経営分析セミナーを実施し、31 社の参加を得た。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、予定を変更してWEBセミナーとなった。参加者からは積極的な質疑がなされ、セミナー自体は盛況に終了した。

#### **評価・コメント**

セミナーを受講した検証委員からは、「セミナー内容の理解不足があったので、内容の周知徹底をして欲しい」「分析して、経営計画策定にどう活かすのか知りたかった」といった意見が寄せられた。一方で、「専門的な話が聞けて意識改革できた」「デザイン性を持ちながら経営に努める事が大事」とのコメントもあった。

#### **対策**

重点支援先の公募とセミナーの告知を同時に実施したことで、セミナー内容について、充分に理解が得られていなかったため、来年度開催時の告知方法について研究する。

### **3. 事業計画策定**

#### **評価対象事業**

- ・事業計画策定セミナー（『デザイン経営』の考え方を身に付けるセミナー）の開催

#### **実施状況**

重点支援先を対象として、4回（今回の評価対象は9/9, 9/15, 9/29の3回。10/13に4回目を開催）に渡るデザイン経営を軸とした経営計画作成に関するWEBセミナーを開催した。セミナーでは、「ビジョンシート」と呼ばれる様式に各社の事業計画を落とし込みながら進めた。

#### **評価・コメント**

経営分析セミナーに続いてのWEBセミナーとなり、設備やノウハウを備えての実施によりトラブル無く終えたことで、「WEB会議の活用にはチャレンジしノウハウを積み上げつつあることは素晴らしい」との評価をいただいた。セミナーを受講した検証委員からは、「内容が難しく、理解できないまま進んだ受講者もいたのでは」とのコメントがあった。

#### **対策**

開催期間が短かったことで、職員のフォローアップが十分でなく、受講者の理解度が深まらないまま進んだ面があった。次年度は、講師との事前打ち合わせを綿密に行い、余裕を持って事業計画作成に取り組めるよう配慮する。

### **4. 事業計画策定後の実施支援**

#### **評価対象事業**

- ・巡回・窓口相談によるフォローアップ

#### **実施状況**

重点支援先に対して、9月30日現在で重点支援先28者に対して、延べ122回の支援（巡回相談・窓口相談）を実施した。

#### **評価・コメント**

検証委員会では、年間目標（252回の支援）の設定根拠について説明を行い、ほぼ半数となる支援が実施できたことに対して、「コロナ禍において実施できる事業は地道に活動している」との評価を得た。一方で、感染拡大に配慮しながらも、オンラインではないリアルな相談も大切にしてほしいとの要望も寄せられた。

#### **対策**

下半期も継続的に支援を実施し、専門家派遣等の支援制度を積極的に活用する。

### **5. 需要動向調査**

#### **評価対象事業**

- ・ヒトを対象にした需要動向調査（未実施）

- ・モノを対象にした需要動向調査（未実施）

#### **実施状況**

新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、調査方法等の再検討を行っていること、調査結果については、重点支援先を中心に会員事業者の事業計画等に反映させることを報告した。

#### **評価・コメント**

事業の実施内容に関して、「重点支援先の事業計画の内容に合致しているか」とのコメントがあった。調査内容に関しては、過去の補助金申請での支援需要を踏まえながら、専門家のアドバイスを受けて作成する旨を説明した。また、今後の展開として、「衣生活の調査に関しては、県民局との連携も考えられるのではないか」との意見をいただいた。

#### **対策**

需要動向調査については、下半期から本格的に実施予定である。重点支援先のニーズに沿った情報収集ができるよう、調査項目を検討する。

## **6. 新たな需要の開拓に寄与する事業**

#### **評価対象事業**

- ・広報支援および IT 活用による支援
- ・展示会等出展による販路開拓支援
- ・人手不足解消のための事業
- ・地場産業・地域資源のブランド力向上と地域内消費の拡大事業
- ・交流人口増加のためのまちめぐり事業

#### **実施状況**

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、中止を余儀なくされた事業（商談会・展示会、多可町ふれあい祭り）もあるが、予定を変更しながら対応した。また、様々な制約がある中でも、記者発表や Instagram のセミナー、地元高校生に向けた企業説明会を実施した他、播州織マスクの製造に関する調査やインバウンド振興のための情報収集等に取り組んだ。また、新型コロナ対策として兵庫県が打ち出した「兵庫県地域デジタル活用補助金」では、非会員が支援希望のために商工会に加入する等、組織強化にもつながった。

#### **評価・コメント**

中止となった商談会の代替策として検討しているオンライン展示会について、「新たな取り組みで良い」との評価をいただいた。また、SNS を活用した情報発信に関して「手間ではあるが効果はあるので、積極的に推進して欲しい」との意見があったほか、非会員企業の加入事例に関して、「地域の非会員企業への支援を充実させて、組織強化につなげて欲しい」との要望もあった。

